

平成22年度第4回 琉球大学臨床研究倫理審査委員会

1. 日 時： 平成22年11月17日（水） 9：00～10：35
2. 場 所： 医学部管理棟3階 大会議室
3. 出席者： 國吉幸男委員長（医学研究科）、砂川 元委員（医学研究科）、
垣花シゲ委員（医学部）、高山千利委員（医学研究科）、
植田真一郎委員（医学研究科）、栗田久多佳委員（医学部）、
古川 卓委員（保健管理センター）、垣花豊順委員（学外委員）、
尚 弘子委員（学外委員）
4. 議 事： 臨床研究倫理審査申請書の審査について
下記の臨床研究計画が承認された。

番 号	研究課題名
H22年11月-3	結腸・直腸癌症例に対するオキサリプラチン併用化学療法におけるクレスチンの血液毒性および抹消神経障害発現抑制効果の検討
H22年11月-4	大腸癌におけるオキサリプラチンの抹消神経障害に対する漢方薬：牛車腎気丸の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較検証試験（第Ⅲ相試験）
H22年11月-5	気管支動脈の解剖に関する食道癌術前3D-CTangiographyの有用性に関する研究
H22年11月-6	プロスタグランジン製剤にて効果不十分な緑内障患者に対してドルゾラミド塩酸塩/チモロールマレイン酸塩点眼液の追加投与による眼圧（トラフ値及びピーク値）に及ぼす影響
H22年11月-7	プロスタグランジン製剤、 β -遮断薬の併用治療にて効果不十分な緑内障患者に対して β -遮断薬をドルゾラミド塩酸塩/チモロールマレイン酸塩点眼液に切り替えての追加投与による眼圧（トラフ値及びピーク値）に及ぼす影響
H22年11月-8	プロスタグランジン製剤、炭酸脱水酵素阻害薬の併用治療にて効果不十分な緑内障患者に対して炭酸脱水酵素阻害薬をドルゾラミド塩酸塩/チモロールマレイン酸塩点眼液に切り替えての追加投与による眼圧（トラフ値及びピーク値）に及ぼす影響
H22年11月-9	プロスタグランジン製剤、 β -遮断薬及び炭酸脱水酵素阻害薬の3剤併用治療にて効果不十分な緑内障患者に対して β -遮断薬と炭酸脱水酵素阻害薬をドルゾラミド塩酸塩/チモロールマレイン酸塩点眼液に切り替えての追加投与による眼圧（トラフ値及びピーク値）に及ぼす影響
H22年11月-10	耐糖能異常および2型糖尿病患者の糖代謝、血管内皮機能に及ぼす玄米食の影響に関する研究